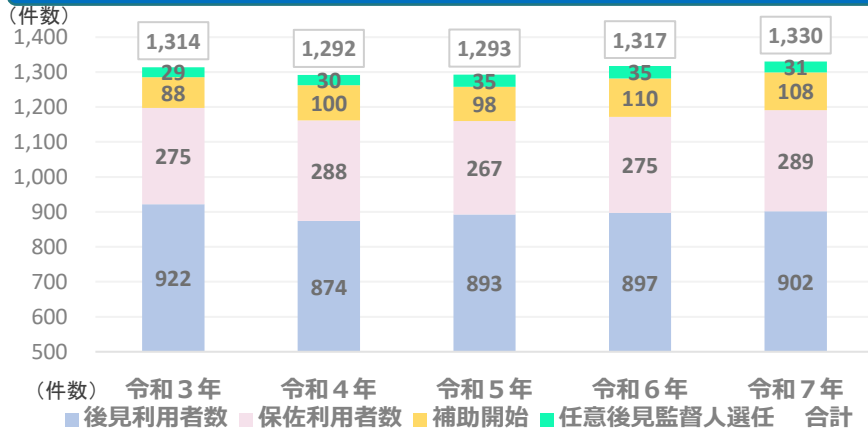


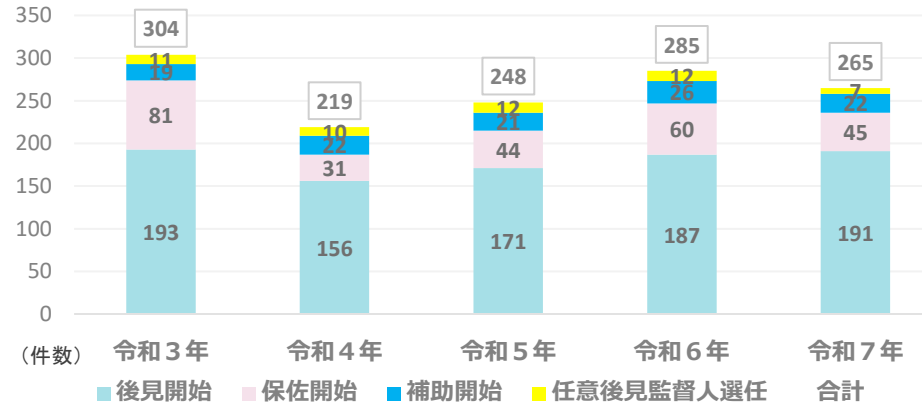
1 成年後見制度の利用者の推移



※ 出典：東京家庭裁判所家事第1部

大田区に住民票がある方の成年後見制度の利用者数は、ここ数年微増であり、令和7年は、1,330人で、都内で3番目に多い。

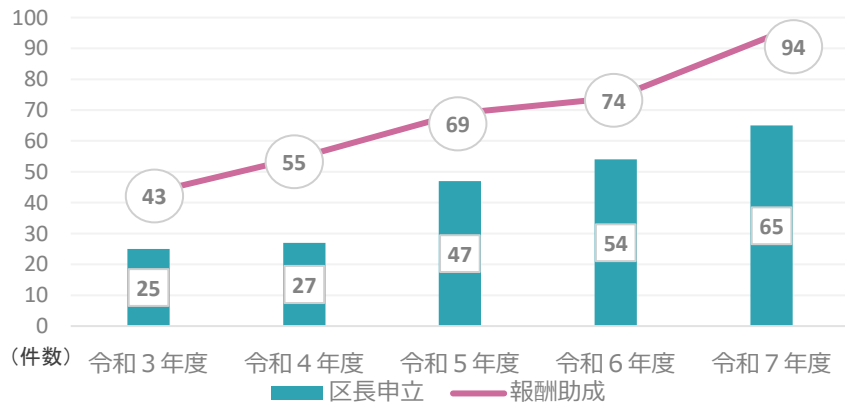
2 成年後見制度の申立件数の推移



※ 出典：東京家庭裁判所家事第1部

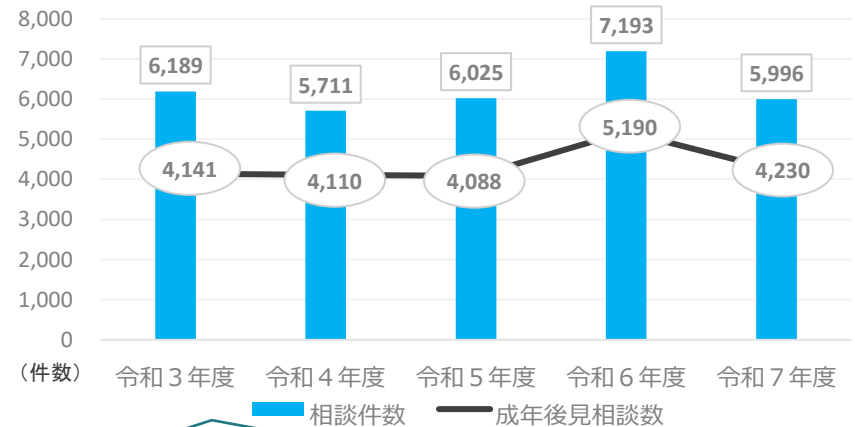
大田区に住民票がある方の成年後見制度の申立件数は、年間200～300件で推移している。令和7年は265件で、都内で2番目に多い。補助申立件数は23区で一番多く、早期に申立てに繋がっていることがうかがえる。

3 区長申立・後見報酬助成件数の推移



区長申立の件数は、令和3～4年度はコロナ禍で停滞したが、令和5年度以降は右肩上がりに増加している。報酬助成の件数も右肩上がりに増加しており、利用支援制度が浸透していることがうかがえる。

4 おおた成年後見センター相談延件数の推移



おおた成年後見センターに寄せられる相談のうち、約7割の4,230件が成年後見制度に関するものとなっている。老いじたく関連の相談は496件である。